

緑に映える生田キャンパス =2012年5月23日、ヘリから撮影

ニース専修

専修大学 ホームページ

http://www.senshu-u.ac.jp/

毎月1回15日発行
(定価一部90円)
発行所
専修大学広報課
〒101-8425
東京都千代田区
神田神保町3-8
☎03-3265-5819(直)

主なニュース

- 経済学部公開講座「日本経済の再生―震災を越えて」が始まる……2
- 長倉洋海さんが文学部「報道写真論」で講義……3
- 教育研究振興協力資金募金寄付者芳名……6
- 石巻専修大学特集……7
- 育友会定期総会 新会長に渡邊信氏……10
- 学生の手で防災と地域貢献 生田に「SIV」誕生……14

学校をつくろう
創立者4人の青春物語
DVD絶賛販売中(購買会他)

専大へ行こう!

専修大学オープンキャンパス
OPEN 2012 SUMMER CAMPUS

神田キャンパス	生田キャンパス
7/15 日 10:00~15:00	8/6 月 10:00~15:00
生田キャンパス	生田キャンパス
8/7 火 10:00~15:00	9/16 日 10:00~15:00

全日程、9:30より受付開始
入学センターインフォメーション
【神田キャンパス】TEL03-3265-6677
【生田キャンパス】TEL044-911-0794
http://www.senshu-u.info/

川崎商工会議所と連携・協力覚書に調印

専修大学と川崎商工会議所は5月31日、両者による人材の育成、人的交流の推進、人的資源・知的資産を活用した産学連携活動を進める「連携・協力に関する覚書」を締結した。

産学双方に大きな期待



川崎商工会議所の山田会頭(右)と日高学長・理事長

同会議所が大学と包括的な覚書を締結するのは初めて。本学が進めているベトナム、ラオスなど東アジアの企業研究プロジェクトの成果を役立てることも期待される。

調印式は川崎市のソリッドスクエアの会議室で行われ、専修大学の日高義博学長・理事長と川崎商工会議所の山田長満会頭が調印した。

本学は、同会議所が展開する次世代の川崎経済の担い手育成を目指す「川崎インターンシップ・事業」に2007年の立ち上げ当初から参加している。同会議所との連携による川崎市を担う人材育成に取り組む。

日高学長は「学生たちを実学の現場に送ることができ」と産学連携交流に期待をこめて語った。山田同会議所会頭も「専修大学の豊富な知的資源とネットワークを活用させてもらうことにより、魅力ある川崎を国際産業都市にしていきたい」と抱負を語った。

東日本大震災・被災学生を支援した 独ハレ大留学生と日高学長、嶋根教授が懇談



東日本大震災で支援活動を行ったドイツからの留学生クリスチン・グルーベさん(中央)と嶋根克己人間科学部教授(左)が日高学長・理事長と懇談=13面に記事

経営学部50周年 記念講演会・祝賀会を開催



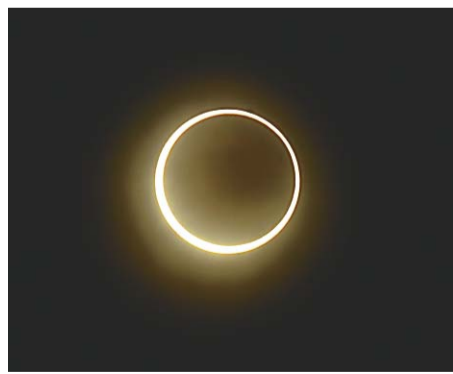
経営学部(瓶子長幸学部長)は本年、創立50周年を迎えた。6月9日、生田キャンパスで同学部の学生、卒業生、教員ら多数が出席して記念講演会と祝賀会が開催された。写真・詳細は本紙次号で。

観測好位置の生田キャンパス

5月21日の早朝、「専修大学金環日食観測会」(自然科学研究所主催)が開催された。早朝にもかかわらず、教養科目「宇宙地球科学」などの自然科学系科目を履修中の学生や教職員、関係者など約100人が生田キャンパス2号館前の広場に集合し、地球と月、太陽が一直線に並ぶ瞬間を待ち望んだ。

自然科学部が 観測会を開催

今回の日食は、月が見かけ上やや太陽より小さいために、太陽の一部がリング状に残る金環日食だったが、生田キャンパスはその中心線のほぼ真下に位置し、天気に恵まれれば、すばらしい天体ショーが観測されるといって予報された。天気予報の通り、欠け



生田キャンパスで5月21日午前7時33分ごろ=森下亮さん(文2)撮影

100人が見た! 「金色の環」

最初の午前6時30分ごろには雲が空を覆い、雲間から時折欠けた太陽が見える程度だったが、「宇宙地球科学」担当の商学部・大月祥子講師による日食のメカニズムの解説などが進むうち、7時を過ぎるころには雲も薄くなり始めた。

そして、7時30分過ぎには、金色のリングとなった太陽を観測することができた。参加者は日食グラスや太陽投影用望遠鏡などを利用して、数分間の「宇宙の神秘体験」を満喫した。

日食が日本で次に観測できるのは、4年後の2016年3月9日の部分日食。また2030年6月1日には北海道で金環日食が、2035年9月2日には北陸から関東北部にかけて皆既日食が観測できる。(佐藤暢・経営学部准教授)



金環日食を観察する学生たち